

自己評価 保育園

<考察>

<教育保育目標・内容について>

- ・ 毎月全職員で保育内容の振り返りを行ってきた。子どもたちが求めていることを見極め育ちを見ながら目標を設定してきた。
- ・ 昨年よりも他の学年との関りが少なかったので、来年度は日々の連携を多く取りたい。
- ・ 乳幼児期に作られる愛着を大切にできる環境と関りが持てるような内容を設定できるように保育内容に気を配ってきた。

<健康安全について>

- ・ 食事は「食べることが楽しい」を第一優先に考え、無理強いしないようにしてきた。今後も子どもの食べなくなる気持ちを引き出していけるようにしていきたい。
- ・ 人権を大切に一人ひとりの気持ちに寄り添った言葉がけ等を行ってきた。

<職員の資質向上・職員間について>

- ・ 外部の研修は受けられたが、園内研修の機会が少なく環境設定への周知が足りなかった。来年度は園内研修を増やしていきたい。
- ・ 日々の打ち合わせで職員間で必要な連絡事項は共通理解してきた。反省に対する課題への話し合いを増やしていきたい。

<地域・自然との関り>

- ・ 地域の方・他施設の方との関りがあまり持てなかったので増やしていけるようにしたい。
- ・ 散歩車に乗って少し遠い公園まででかけ季節ならではの自然物を拾ってきたり、それを使って遊びを工夫し自然との触れ合いを多くできたので、引き続き自然物を取り入れた遊びや活動を通して楽しんでいきたい。

<施設設備について>

- ・ 充実できるように担任間で話し合い手作りおもちゃや環境を整えて遊びが広がった。
- ・ 危険箇所等のないようチェックリストを使い毎日行ってきた。伸び伸びと遊べるように気を配りながら活動を楽しむことができた。

<保護者対応について>

- ・ 連絡帳や送迎時に様子をお話したりしたが、なかなか伝えきれないこともあった。
- ・ ホームページでクラスの活動が伝わるように毎週更新に努めた。今後もクラスだよりに写真を多く入れ、メディアの多いおたよりになるように配慮していきたい。コミュナビでの配信も増えてきたので、分かりやすい内容に努めたい。

<研修と研究について>

- ・ 子ども主体の保育に取り組んだが年齢的になかなか難しく、実感を感じにくい点があった。来年度も子どもたちの自己肯定感が高まるよう意識した保育を行っていきたい。

自己評価 幼稚園

<考察>

<教育保育内容について>

- ・ 子どもたちの声を聞いたり、子どもたちの興味関心から指導の計画を立てた。
- ・ 長期目標に向けて必要な短期目標を具体的に設定しスモールステップで取り組めるようにした。
- ・ 毎月全学年で振り返りの時間を設け、子どもの育ちなどの情報交換を行っている。
前年度の反省を活か保育目標を設定できた。

<健康安全について>

- ・ クラス内の掲示物で子どもたちに可視化して伝えたり、身につけてほしいことはクラスだよりで知らせたりした。
- ・ 月1回の食育など絵本や紙芝居を使い食に興味を持てるようにした。

<職員の資質向上・職員間について>

- ・ 研修内容を実践するだけでなく職員間で共有しているが、もう少し具体的に理解するため今後園内研修を重ねていきたい。
- ・ 子どもへの怪我等共通理解を必要とする内容はみんなで周知できるよう細かく伝えるようにした。また、ヒヤリハット等記録を残し回覧し職員間で周知できるようにしている。

<地域・自然との関わりについて>

- ・ 近隣の小学校の参観や中学生の交流を今年度は多く取り入れた。
- ・ 地域連携している幼稚園・保育園の公開保育にお互い参加することで情報交換の場となり横の繋がりができたので継続していきたい。
- ・ 子どもたちの興味関心に合わせて色々な公園に出かけたり、そこで拾った自然物を制作に取り入れた。また、季節を感じながら公園までお散歩したりする中で草花にも興味を持てた。

<保護者対応について>

- ・ 連絡帳や、電話、直接伝える等内容により伝え方を変えて保護者の方に寄り添った対応するよう努めた。
- ・ ホームページや「きらきらみつけた」では具体的な子どもの様子を記入することを心掛けた。
- ・ 保育参観のアンケートを受け、今後もいただいたご意見ご感想を真摯に受け止め保育に活かしていきたい。

自己評価を通して日々の反省点や継続したい点、さらにやってみたいことなど見えてきた。研修などで得た知識を共有したり、保育に取り入れることでさらに園全体のスキルアップとなるようにしていきたい。